

 広報おんな

ONNA

2021

4

No.478

～新たなる旅立ちの一步～



TOPIC

令和3年度 施政方針	2-7
うんな中学校卒業証書授与式	9
GIGA スクール	10

令和3年度 施政方針



令和3年度の村政運営に向けて、所信の一端と主要施策の概要についてご説明申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、村民の命と健康を守るため、日夜ご尽力いただいております医療従事者の方々に始めとする皆様に、改めまして敬意と感謝を申し上げます。

本村においても、強い危機感を持ち、感染拡大を防止し、村民生活と村内事業者の経済活動の早期安定化を最優先に対策を進め、村民の皆様と一体となって、この難局に立ち向かってまいり所存であります。

本年は、東日本大震災から10年となります。近年、記録的な大雨による災害が全国各地で頻発しており、どこで甚大な被害が発生しても不思議ではない状況にあります。国・県と連携し、防災・減災、国土強靱化に取り組み、自然災害に備えてまいります。

また、恩納村第5次総合計画後期基本計画の成果と課題の検証を行い、情勢の変化が目まぐるしい新たな時代のニーズに的確に対応した「経済」、「社会」、「環境」のバランスを図るSDGsの理念を活かした恩納村の夢あるまちづくりの実現に向けて、村民、各種団体、事業者等の方々の意見を十分に踏まえ、新たに恩納村第6次総合計画を策定してまいります。

コロナ禍にあっても、感染拡大防止対策に配慮しながら、村民サービスが滞ることのないよう、行政運営を展開してまいります。

1 教育・文化

安心して学習のできる環境をつくるための経済的支援

①学用品費、給食費などの就学援助の就学前給付の実施や遠距離通学支援等を実施します。

②奨学金を活用した高校進学に伴う給付型奨学金枠を追加し、更なる人財育成及び経済的支援を推進します。

幼稚園・学校教育の充実

①各幼稚園間の合同保育を実施します。

②「GIGAスクール構想」による一人一台端末環境が整備されたことでコロナ禍での学びの保障を実現します。

③スクールソーシャルワーカーを継続配置し、多様化した課題に対し、教育及び福祉の観点から関係機関の連携を強化します。

④うんな中学校において商品開発を目的とした授業「SDGsパートナーシッププロジェクト」を展開し、学校での商品開発を通して様々な経験や資源戦略を基に、効果的な体験を推進します。

⑤幼稚園、小学校の適正規模を検討し、地域、学校と協議、説明する機会を設け、園児、児童の教育環境の整備を推進します。

学校施設の整備

①老朽化している学校施設及び通学



学校給食

①関係機関及び地元農家等と連携し、地産地消の充実を図り、栄養バランスのとれた安心安全な学校給食を提供します。

②中学生の給食費無料化と併せて新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き、小

生涯学習・生涯スポーツの推進

①SDGsの視点で生活向上等に必要な講座を設定し生涯学習を推進します。

②村民の体力の維持や向上、交流を図ることができるよう、施設の開放、スポーツ教室、大会などを開催します。

③競技力の向上や人材の育成を図るため、各種団体や個人選手の派遣等に対する支援を実施します。

青少年の健全育成

①「地域の子は、地域で守り育てる」を基本に、学校・家庭・地域及び関係機関、各種団体と連携して家庭における基本的な生活習慣を身につけた子どもを育成します。

②青少年の自主性、社会性、協調性、国際性を育むため、各種交流及び体験事業を実施します。

文化活動と博物館

①博物館開館20周年の節目にあたり、博物館のこれまでの活動成果を振り返る記念特別展「恩納村博物館20年の足跡」を実施します。

②常設展示室リニユーアル事業を推進し、自然展示ゾーンの新設に向けた基本計画の策定に取り組みます。

③文化協会の支援を行い、村民の幅

広い文化活動を奨励します。

文化財

①国指定史跡「山田城跡」の調査及び公有地化事業の継続。

②県指定名勝・万座毛及び植物群落の『保存管理活用計画書』を基に整備委員会を設置し、整備計画策定に向け取り組みます。

③仲泊遺跡や国頭方西海道などの国指定文化財を含む村内の文化財の活用による文化財保護思想の普及に努めます。

文化情報センター

①対面朗読室や音声読書機の活用を図り、読書バリアフリーの環境の整備を実施します。

②サンゴの絵本づくりや完成した本の活用を図り村民のSDGsへの関心を高めます。

2 保険・医療・福祉

健康づくりの推進

①特定健診の自己負担を引き続き無料化。更に心電図の検査項目を追加します。

②40歳以上のがん検診受診者に対し集団健診以外に個別で受診できる医療機関を設定し受診率の向上を図ります。

③特定保健指導を継続し保健指導を強化します。

④村民への広報、未受診者への周知方法を改善します。

⑤健康づくりにつながるイベントの開催、運動や食生活に関する情報提供、健康づくり活動を担う人材育成を進め、村民の健康増進を推進します。

医療・保険制度の充実

①国民健康保険税率の見直しを進めてまいります。

②収納率向上特別対策事業を継続し税の徴収率の向上に努めてまいります。

③地域の実情に即した疾病予防の取り組み、健診受診率の向上に努め、早期発見、早期治療等に繋がられるよう、医療費の抑制に努めてまいります。

④沖縄県後期高齢者医療広域連合と連携し、適切な制度運営に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症対策

①ワクチン接種について対策班を早々に設置し全庁的に取り組んでいるところであり、村民への円滑な接種を実施するため、村内の医療機関、北部医師会と必要な体制の確保に取り組んでいるところであります。

現在、国が示すとおり重症化リスク

の高い高齢者や基礎疾患のある方から順次接種の準備を進めているところであります。

感染防止対策については、多くの媒体を駆使し村民に情報を提供、共有することで、村民と一体となり感染対策に努めてまいります。

母子保健・子育て支援

①「出産への不安や困り感を軽減し、健やかな妊娠・出産を迎えるため」の支援や「出産後の育児不安を軽減するための母子に対しての心身のケアや育児のサポート」の充実。

②引き続き、村内の村立保育所・認可保育園等と連携し、待機児童ゼロの継続に努めてまいります。

地域福祉の推進

①地域共生社会の実現において誰もが住み慣れた地域で生活できるよう行政と村民が一体となり自治会、民生委員・児童委員及び各種団体と連携し地域福祉の推進に取り組んでまいります。

②村民の社会参加及び自立に向けた相談支援を行うとともに社会福祉協議会との協働のもと地域における相互扶助意識の啓発、地域福祉体制を「第1期恩納村地域福祉推進計画」に基づき行なってまいります。

高齢者福祉

- ① がんじゅう大学等の介護予防事業については、新型コロナウイルス感染症の流行状況に柔軟に対応するとともに感染予防対策を徹底した上で介護予防事業の再開・実施に取り組んでまいります。
- ② アクティブシニア教室などの運動教室や認知症予防教室を各区公民館や各地域で開催し介護予防の取り組みを充実してまいります。
- ③ 外出支援サービスや高齢者住宅改修事業等の在宅福祉サービスについても引き続き適正給付に努め、「健康長寿のむら」の実現に取り組んでまいります。



3 産業・経済

農業・水産業の振興

- ① 拠点産地に認定された品目の安定生産を図る取り組みを推進します。
- ② 新たな品目の産地化に向け、アボカドの試験栽培の継続と、パインアップルのブランド化及びシンカレタスの秀品率向上に取り組んでまいります。
- ③ 引き続きモズク・アーサ養殖に必要なヒビ網購入に対する補助と、新たに保管用冷凍機器購入に対する補助を実施してまいります。
- ④ 地産地消の推進については観光地としての強みを生かし、関係団体及びコーディネーターとなる地域おこし協力隊による地場産品のマーケティングをはじめ、積極的に活用してもらええるホテル・飲食店などの協力者を増やしていくことに力を入れていきたいと考えております。
- ⑤ 農業の担い手の確保及び育成を図るため、「恩納村 人・農地プラン」を推進するとともに、意欲的に取り組んでいる農業者に対し、農地集積及び集約を促進してまいります。
- ⑥ 恩納農業振興地域整備計画の総合見直しについては、村の基本方針や令和2年度実施の基礎調査の結果をもとに、集団的農地や農養生産基盤整

備事業の対象地等の優良農地について、農用地区域を見直すことにより、本村の農業振興基盤となる農用地等の確保に努めてまいります。

- ⑦ 自然環境保全に配慮した農業を推進していくため、「恩納村赤土等流出防止対策地域協議会」を中心に対策を強化します。
- ⑧ 老朽化した農道橋梁対策として、喜瀬武原区において通作条件整備事業を活用し調査業務を実施してまいります。
- ⑨ 「恩納村有害鳥獣対策協議会」及び「恩納村鳥獣被害対策実施隊」と連携し、イノシシ捕獲罠を増設するとともに、イノシシ侵入防護柵設置に関する補助を実施してまいります。
- ⑩ 畜産業につきましては、昨年度本島中部地域で発生しました豚熱はじめ、日本本土で多発する鳥インフルエンザ等が懸念されることから、関係機関と連携し防疫体制を強化するとともに、農家の経営安定に努めてまいります。
- ⑪ 本村の水産業はサンゴ礁海域を利用した沿岸漁業が中心であることから、村、漁協、関係事業者、消費者と連携したサンゴ再生事業を継続してまいります。
- ⑫ 漁港施設につきましては、恩納漁港において漁港機能施設の整備を引き続き進めるとともに、「恩納村里海づくり推進協議会」において漁港利用におけるルールづくりや、放置船等課題解決



に向けた協議を継続し、各漁港における適正な施設の維持管理に努め、海洋レジャー活動との共存等更なる水産業の振興に努めてまいります。

観光業の振興

- ① 令和3年度沖縄観光の見直しについて、新型コロナウイルスのワクチンの接種状況や「Go Toトラベル」の実施などに大きく影響されると考えられます。こうした中、本村としても引き続き各事業所に於いて、感染症予防対策への普及啓発や観光誘致支援を行いコロナ収束期の観光回復に努めてまいります。
- ② コロナ禍に於いて低迷している村内観光産業の支援策として国、県から発せられる支援策を見極め、県内、村内の情勢を鑑みたうえで

- 村独自の支援策を発していく考えであります。

- ③ 観光協会を中心に実施している「沿道除草対策事業」の強化を図るほか、沖縄総合事務局及び北部国道事務所との連携により、村内リゾートエリアを体感できる景観の形成及び維持に取り組んでまいります。また、真栄田岬のオーバートリズム問題の解決に向け、SDGs理念を取り入れた新たなルールづくりを推進し、施設及び海域の適正な利用を図り、世界に誇れるブランドづくりに努めてまいります。

- ④ つんなまつり及び美ら海花火大会については、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、ワクチン接種の普及を鑑み、秋頃の同時開催で予定してまいります。

- ⑤ 「持続的なむらづくり推進税」につきましては県の動向や観光産業の回復等を注視し、慎重に推進してまいります。

商工業の振興

- ① コロナ禍に於いて収入が減少した村民の生活を支援するとともに、売り上げが低下した村内農水産業、村内事業所を応援し、村民の雇用を守ることを目的に、村民に対し、村内事業所で利用できる景気回復商品券を発行し、村内経済の活性化を目指し

- ます。
- ② コロナ支援策として国、県から発せられる経済支援策を見極め、県内、村内の情勢を鑑みたうえで村独自の支援策を発していく考えであります。
- ③ 経営基盤の強靱化を支援するため「恩納村中小企業者・小規模企業者・小企業者振興基本条例」に基づき、特産品の開発や経営相談事業を継続的に実施してまいります。

雇用対策

- ① 正規並びに短時間就労の仕事を求める村民と村内事業所のマッチングを目指す村内事業所合同就職説明会を今年度も開催するとともに、庁舎内及びホームページにおきまして、求人情報の発信を続けてまいります。
- ② 小中学生の職場体験やジョブシャドウイングなど「地域型就業意識向上支援事業」も継続して実施し、村内の農水産・サービス業等の仕事に対する認識の向上を目指してまいります。

沖縄科学技術大学院大学の推進

- ① OISTにつきましては、第5研究棟や宿舍などの整備が着手されており、村といたしまして、OISTの周辺環境整備を沖縄県、OISTと連携を図り推進してまいります。

- ② 「こどもかがく教室」の事業プログラムの充実を図りながら村内幼小中学生へ科学に親しむ機会を提供してまいります。

4 生活環境

自然環境・景観の保全・育成

- ① 本村の海岸は、観光立村を支える貴重な資源であると同時に、村民の憩いと安らぎの場として、引き続き自然と共生する海岸環境を作る為、ボランティアの協力も得ながら海岸清掃等を実施し保全を推進してまいります。

- ② 河川管理に当たっては、安全で良好な自然環境の確保に努め、集落及び農地等の水害を防止するため、河口閉塞状況にある河川を常に点検し、改善してまいります。

- 河川整備につきましては、福地川改修工事（安富祖）を実施します。
- ③ 今後も多くの観光に関連した施設整備計画が予定されております。本村の主要産業である観光産業につきましては、自然景観と調和した観光地づくりが重要であると考

- えており、「恩納村景観むらづくり条例」を基本に良好な景観形成づくりの誘導に努めてまいります。
- ④ 2019年7月に内閣総理大臣か



- ⑤ サンゴのむらづくりに向けた行動計画に基づき、サンゴ礁保全などの普及啓発アニメーション制作による自然環境保全の啓発を実施するほか、村内児童生徒へのサンゴに関する学習提供を実施してまいります。また、サンゴ基金活用によります村内事業者のサンゴ礁保全再生活動を支援してまいります。

土地利用の調和

- ①昨年度は5年毎の土地利用基本計画の見直し業務を地域の皆様や関係者から意見を伺い、土地利用区分の見直しを行いました。本年度は恩納村の土地利用の方針を検討するとともに、「恩納村環境保全条例」を基本に「良好な土地利用の誘導に努めてまいります。」
- ②若年層の住宅確保に向けて、名嘉真区定住促進住宅整備事業の計画を進めてまいります。
- ③「谷茶区定住促進事業」の用地取得に取り組み、まちづくりに向けた検討委員会を発足してまいります。
- ④若者世帯へ空き家を貸し出す仕組みづくりの構築に向け、先進地空き家活用等を参考に取組を推進してまいります。
- ⑤恩納通信所返還跡地につきましては、契約地主会及び開発事業者と連携を図りながらインフラ等の整備を実施してまいります。昨年度から大型リゾートホテルの開発が進んでおり、引き続き跡地利用の早期実現に向けた取り組みを推進してまいります。
- ⑥生活環境の充実

- ②村道多幸山線災害対策工事の実施設計を実施してまいります。
- ③村民の生活環境の充実を図るため、村道喜瀬武原線及び、村道勢高1号線と、勢高2号線の工事を実施してまいります。
- ④安全で快適な交通環境のために、村道の除草作業等を実施し、万全な対策で維持管理に努めてまいります。
- ⑤第3次拡張整備計画（耐震化事業）に基づき、引き続き仲泊配水池建設工事（機械・送配水管）及び老朽化した送水管の布設替え工事を実施してまいります。
- ⑥下水道事業は、本年度も引き続き恩納第2地区の管路工事及び機能強化事業で山田地区の管路工事を実施します。
- ⑦新たに名嘉真地区の下水道整備設計業務を実施します。
- ⑧供用開始している喜瀬武原地区・山田地区・恩納地区の処理場等については適切に維持管理を行ってまいります。
- ⑨宅内配管についても継続して村民への普及啓蒙に取り組み、接続率向上に努めてまいります。
- ⑩村営住宅の整備つきましては、村民のニーズにより計画してまいります。既存村営住宅の管理は、万全な対策で維持管理、計画的な修繕

- ⑪安富祖ダムの建設は令和3年度がダム本体建設工事最後の年となっております。ダム本体周辺整備工事を障害防止対策事業により実施し、令和4年度に安富祖ダムの供用開始となります。
- ⑫環境衛生の充実
- ①ごみの発生を抑制し、分別収集や再資源化の徹底、不法投棄やポイ捨て防止に努め最終処分場の延命化、更なるごみの軽量化等による資源循環型社会の構築に取り組んでいきます。
- ②生息拡大防止のためのタイワンハブ等捕獲器の増設を行い、咬傷注意喚起活動や関係機関と連携・強化を図り駆除作業を実施してまいります。また、タイワンスジオにおいても同様に対策強化に努めてまいります。
- ③適切な斎場の管理運営を図ると共に、恩納村墓地整備基本計画に基づき、墓地指定区域への個人墓の集約化促進と南恩納地区2期工事設計委託を行います。また他の地域の墓地に関する届出の周知を図ります。

- ④住民一人ひとりが自ら行う防災活動が「減災」につながる最善の策であり、今後とも「自助・共助・公助」を適切に分担し、地域の自主防災組織や事業所と連携して防災対策に取組むとともに、引き続き石油貯蔵施設立地対策交付金を活用し、消火栓等の整備に取組んでまいります。
- ⑤村民の安心・安全な暮らしを守るためには、石川警察署や関係団体との連携を図ることが重要であります。引き続き交通安全思想の普及啓発や犯罪の未然防止を目的とした防犯カメラの適切な管理運用に努めるとともにLED型防犯灯の設置に取り組み、明るい社会づくりを進めてまいります。
- ⑥自治体運営

- ⑦施設新築事業の工事を引き続き実施してまいります。
- ⑧新規事業として、特定防衛施設周辺整備交付金により塩屋区公民館建設事業が始まります。本年度は、基本設計業務を実施いたします。

行財政運営の充実

- ①新型コロナウイルス感染症の影響で先行きが不透明な中、行政需要が多様化しており、社会情勢の変化に柔軟かつ弾力的に対応する必要があります。新たな行政課題や村民の様々な行政ニーズに対応するため職員の資質・能力の向上を目指すした人材育成を推進するとともに、本年度より人事評価制度を本格的に運用し、職員が最大限にその能力や個性の発揮・活用が図れるよう進めてまいります。
- ②国におきましては、社会全体のデジタル化に向けた取組が加速しており、本村行政内部におけるシステムのクラウド化やペーパーレス化等デジタル技術の利活用を促進してまいります。
- ③男女共同参画につきましては、基本的人権と多様性が尊重される社会づくりに向けた取り組み等、性別に関わりなく、能力が十分に発揮することが出来る男女共同参画

- ④の実現を目指し、「恩納村男女共同参画行動計画ナビープラン」の改訂に取組んでまいります。
- ⑤本村の財政運営は、健全化判断比率や新地方公会計による財務諸表による比較的健全に推移しております。しかしながら、一般の新型コロナウイルス感染症に着実に対応していくためには、安定した財政基盤の確保が重要であり、中長期財政計画目標達成に向けて、投資的経費等の削減及び村税等に係る未収金徴収強化を図るとともに、ふるさと納税につきましても、恩納村の魅力の発信に努めてまいります。
- ⑥これまで村民の福祉・行政サービスの向上に資するため公共施設等の整備を進めてまいりました。その一方で、各施設の修繕費用や維持管理費は、年々増加しており、中長期財政計画と連動した施設の更新が重要であります。本年度には、公共施設等総合管理計画を見直したうえで、令和10年代にピークを迎える大規模改修等に対応してまいります。
- ⑦本村の重要な自主財源である村税については、適正な課税と納期限内の納付を図るため国及び県との連携を密にし、併せて電子システムの活用を推進してまいります。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等に伴う社会情勢を鑑み、納税義務者に対し、

- ⑧きめ細かな納税相談・納税指導を実施するとともに、個々の生活状況等の調査を行い、完納に導けるよう職員の資質向上を図り納税意識の促進に努めてまいります。
- ⑨窓口へお越しいただいた皆様に、満足していただけるようサービスの向上を図り、戸籍関係に関する身分事項等相談についても、しっかり耳を傾け住民の方へ寄り添った円滑な対応ができるよう努めてまいります。また、マイナンバーカードの取得も推進してまいります。
- ⑩国民年金につきましては、新型コロナウイルス感染症対策としての臨時特例の免除申請及び現行制度を充実させるため新たに導入された、年金生活者支援給付金や産前産後期間の保険料免除申請において対象者がもれなく申請できるように一層連携を強化してまいります。
- ⑪さらに継続して、将来の適正な年金受給のため、年金機構と密に連携し、無年金者などの発生予防に重点をおき、村民福祉の向上に努めてまいります。

広域行政の推進

- ①沖縄北部連携促進特別振興対策特定開発推進費（公共）につきましては、引き続き道路事業を実施していくほか、公営住宅事業計画に向けた取り

- ②とともに、来訪者等（観光客）向け多言語防災マップ作成及び国土強靱化地域計画策定に取組んでまいります。
- ③住民一人ひとりが自ら行う防災活動が「減災」につながる最善の策であり、今後とも「自助・共助・公助」を適切に分担し、地域の自主防災組織や事業所と連携して防災対策に取組むとともに、引き続き石油貯蔵施設立地対策交付金を活用し、消火栓等の整備に取組んでまいります。
- ④村民の安心・安全な暮らしを守るためには、石川警察署や関係団体との連携を図ることが重要であります。引き続き交通安全思想の普及啓発や犯罪の未然防止を目的とした防犯カメラの適切な管理運用に努めるとともにLED型防犯灯の設置に取り組み、明るい社会づくりを進めてまいります。
- ⑤住民自治の推進



▲施政方針のページ

- ⑥おわりに
- ⑦令和3年度村政運営にあたり所信の一端を申し述べましたが、これからも村民の皆様が安心して暮らし、幸せを実感できるおむらづくりを目指して、村民目線に立った村政運営に心がけていく所存であります。
- ⑧村民並びに議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げます。令和3年度の施政方針といたします。
- ⑨令和3年3月9日
- ⑩恩納村長 長浜 善巳
- ⑪施政方針と今年度に取り組む主な施策を抜粋して紹介しています。
- ⑫全文は村ホームページをご覧ください。

うんな中学校卒業証書授与式

3月6日、うんな中学校で初めての卒業式が行われ、106人の生徒が卒業しました。

宜志富清博校長は「うんな中で培った『英明果敢』の校訓のごとく、常に自分を信じ、個性を伸ばし、何事にも主体的に挑戦してほしい」とエールを送りました。卒業生代表の當山安恒さんは答辞で「コロナで休校や中体連中止など悔しい一年でしたが、仲間や先生方と濃密な時間を過ごすことができ、悔しさを上回る楽しい思い出を数多く残すことができました」と述べました。

校庭では在校生や保護者が卒業生を笑顔で見送り、それぞれ歩む新しい道へ巣立っていききました。



ひなあられ作戦



3月3日、おんなの駅でひなあられ作戦が行われました。

「飲酒運転 しない させない 許さない」をスローガンに、おんなの駅に訪れた来客者にひなあられを配布し、飲酒運転根絶と交通事故防止の呼びかけを行いました。

全国大会出場報告



3月18日、うんな中学校男子バドミントン部2年生の津波古莉久君（右から3番目）と松茂良琉斗君（左から3番目）が役場を訪れ、沖縄県の代表として全国大会への出場を報告しました。

残念ながら、九州大会は新型コロナウイルスの影響で急遽派遣中止となってしまいましたが、秋田県で開催される全日本中学生バドミントン選手権大会に向けて抱負を話しました。

生活安全部長感謝状受賞



2月15日、沖縄警察本部で令和2年度生活安全部長感謝状贈呈式が行われ、安富祖自警消防団と佐渡山安武氏が生活安全部長（松崎賀充警視正）から感謝状が授与されました。

安富祖自警消防団は、地域防災活動・防犯パトロール等の防犯活動功績で、佐渡山安武氏は永年にわたりソフトボール指導者として少年の非行防止及び健全育成活動の功績が評価され受賞されました。

山田小へ寄付



3月2日、村出身のクリエイティブディレクター吉田ロベルトさんがSDGsの取り組みの一環として、山田小学校へ自身のアパレルブランドの売り上げの一部10万円を寄付しました。

山内校長は「寄付金は児童会を中心に『もの』や『こと』に繋がたいと思います」と感謝の言葉を述べました。吉田氏は、村内各小中学校へ2年間継続して寄付を行います。

恩納村 GIGA スクール活用例



検索サイトを活用した調べ学習

▲探求的な学習の実現

検索サイトや Web 情報の利用によって、調べ学習等において、スピードアップと内容の充実の両立。



文書作成ソフト・プレゼンソフトの利用

▲だれも取り残されない学習の実現

子どもたちの理解度をリアルタイムで確認することにより、理解できている子どもが少ない場合には、重点的な知識の補充をすることができます。



一斉学習の場面での活用

◀プログラミング教育・情報モラル教育の推進

論理的思考を身につけることを目的とするプログラミング教育が、小学校でも必修化されます。また、情報化社会における情報モラル教育などもひとつの課題であり、インターネットの利用により自分を危険に晒したり、他者を害したりしないようにするための教育も今後は重要になっていきます。

リモート交流による学習▶

1人ひとりの学習状況に応じた個別学習

リモートにより、県内外の多くの人々と交流することができます。中学校では、校歌作詞者である宮沢和史さんとの交流もすでに実現しており、今後も、外国の学校の児童生徒や、校外の専門家の大人から学ぶ機会が増えていきます。



▼共同学習の充実

1人1台パソコンを活用することで、子ども同士の意見交換、グループ発表等の共同学習を促進します。



▼デジタル教材の活用

電子黒板との連動により、音声や動画、3D 等によるデジタル教材の活用で、学びはより深いものになります。



恩納村 GIGA スクール



1人1台のパソコンを活用した「つながる」教育

GIGA スクールってなに？

GIGA とは通信容量などのギガではなく、「Global and Innovation Gateway for All」の略で、「誰一人取り残すことなく、こどもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境の実現」を目指した施策です。

これは、全国の小中学校が対象となっている、「文部科学省 GIGA スクール構想」に基づき児童生徒1人1台のパソコン整備、教室の無線 LAN 化などを進めています。

恩納村はこれまでに、県内でもいち早く教育に関する ICT 整備を進めてきましたが、GIGA スクール構想もすでに村内全小中学校への整備が完了し、さらなる子供たちの資質・能力の育成を推進していきます。

GIGA スクールで何ができるのか？

GIGA スクール構想では「すぐにでも」「どの教科でも」「誰でも」使える ICT の実現を掲げており、次のような活用例が挙げられます。

・検索サイトを活用した調べ学習

自らさまざまな情報にアクセスし、情報を収集・整理して主体的に情報を収集・整理して主体的に情報を選択することができる。先生から「教えてもらう」から自分で「学ぶ」へ。

・文章作成ソフト、プレゼンソフトの活用

1人ひとりが考えをまとめて発表、共同編集を利用して考えを共有しながら学び合うことができる。

・一斉学習の場面での活用

1人ひとりの反応や考えを即時に把握しながら、双方向に授業を進めることができる。

・1人ひとりの学習状況に応じた個別学習

デジタル教材を活用することで、1人ひとりの学習進捗状況を可視化し、個別にきめ細やかな対応を行なうことができる。

ネットワークによる「つながる」教育が始まっています！

恩納村教育委員会 学校教育課 ☎966-1209

4月のおすすめ本



『四月になれば彼女は』 川村 元気 / 著

はじめて付き合った彼女から4月に手紙が届くことで物語が始まります。

ある事件をきっかけに別れてしまった二人ですが、彼女からの手紙を読むうちにみずみずしい恋のはじまりや付き合っていたころの思い出がよみがえります。しかし、その時彼は愛しているのかわからない人と結婚を決めてしまっていました。なぜ彼女は今になって手紙を送ってきたのか。失った恋に翻弄される1年を描いた作品です。

文化情報センターだより

Vol.114

4月の休館日

5日、12日、19日、26日
30日

15日（資料整理日）

※状況により変更になる場合があります。

参加費
無料

文化情報センター開館6周年記念イベント

そらのした うみべのおはなし会

日時 4月24日（土） 11:00～
(30分程度)

場所 文化情報センター裏 ウッドデッキ
※雨天時は博物館ピロティ

内容 幼児・児童向け

缶バッジづくり

日時 4月25日（日）
10:00～11:30

14:00～16:00

場所 博物館 1階研修室

定員 20組 ※要予約

受付 文化情報センター2階カウンター
または電話



来館される方へ

ご来館の際はマスクの着用、入館時の検温、手指の消毒のご協力をお願いします。



文化情報センターに関する情報は、
ホームページやSNSで確認できます。



ホームページ



Facebook



Instagram

お問い合わせ 恩納村文化情報センター ☎982-5432

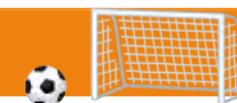
宮沢和史さんとリモート交流会

2月15日、うんな中学校校歌を作詞したシンガーソングライターの宮沢和史さんとリモートで交流会を開催しました。

長浜村長からの感謝状の贈呈や生徒による校歌の創作舞踊の披露など、コロナ禍で来沖できない宮沢さんに感謝の気持ちを伝えました。宮沢さんからは、歌詞に込めた思いを語っていただき、生徒からの質問に答えるなど交流を深め、会の最後には「今一番の夢は、うんな中学校に足を運ぶこと」と話しました。



サッカーキャンプ



今年のキャンプは新型コロナウイルスの影響で全キャンプが無観客での開催となりましたが、コロナ感染防止対策を徹底し、Jリーグ3チーム、なでしこリーグ1チームのキャンプが行われました。



ファジアーノ岡山 (1/23～29)



川崎フロンターレ (2/1～7)



ザスパクサツ群馬 (2/8～12)



伊賀FCくノ一三重 (2/24～26)

学校の取り組み紹介 オンライン劇「丘の一本松」

3月4日、富着公民館にて仲泊小学校4年生22名（担任：金城睦治先生）によるウチナー芝居「丘の一本松」の公演がありました。この取り組みは恩納村社会福祉協議会が行っている福祉教育の流れを発展させたもので、コロナ禍で交流の機会がない地域の高齢者や障がい者の方々に笑顔と元気を届けようと、村内福祉事業所など計13か所にオンライン配信されました。ウチナーグチの台詞や歌・三線の練習、衣装・大道具の作製に地域の方々や保護者の協力をいただきながら、2か月以上にわたる練習の成果を舞台で発表しました。劇終了後には、高齢者の方々より感想や温かい激励の言葉をもらい、テレビ画面越しではありましたが、学校と地域・子どもたちと高齢者の交流の時間を持つことができました。



企画してくださった恩納村社協はじめ、配信に関わってくださった沖縄県社協、谷茶の丘・雅、富着区その他地域の皆様、子どもたちの学びを支えていただきありがとうございました。



恩納村地域学校協働本部（恩納村教育委員会 社会教育課内〈安永〉）

こども医療費助成制度

小学1年生から受給者証が**オレンジ色**に変わります。

- 支給方法：現物給付（**ピンク色**のカード） ○支給方法：自動償還（**オレンジ色**のカード）
対象年齢：0歳～小学校入学前（未就学児） 対象年齢：小学校入学～高校卒業

現物給付とは

医療機関窓口にて現物給付の受給者証を提示することで、医療機関での医療費（保険診療分に限る）を支払うことなく医療サービスを受けることができます。

自動償還とは

医療機関窓口にて自動償還の受給者証を提示することで、医療機関で一度支払った医療費（保険診療分に限る）が指定された口座へ自動的に振り込まれます。

＊保護者の皆さまへ＊

オレンジ色の受給者証を役場窓口にて交付します。

ピンク色の受給者証をもってお越しください。

＊ピンク色の受給者証使用期限は3月31日です。

受付場所 福祉課 母子保健係窓口
受付時間 8:30～17:15

お問い合わせ：福祉課 ☎966-1207

行政相談委員・人権擁護委員に委嘱されました！！

●行政相談委員

恩納村の行政相談員を6年務めてこられた名城淳一氏の後任として、比嘉直志氏が、令和3年4月1日付けで行政相談委員として委嘱されました。

行政相談委員とは？

行政相談委員法に基づき、総務大臣から委嘱され、国・県・役場等の仕事について困ったことなどを公正で中立な立場に立って話を聞いてくれる人のことです。



●人権擁護委員

恩納村の人権擁護委員として貢献された当山君子氏と小谷久美氏の後任として、令和3年1月1日付けで金城尚子氏と松崎直子氏が人権擁護委員として委嘱されました。

人権擁護委員とは？

人権擁護委員法に基づき、法務大臣から委嘱された人権擁護委員は、人権思想を広め、地域の中で人権が侵害されないように配慮して人権を擁護していくこととして、公正で中立な立場に立って話を聞いてくれる人のことです。

サンゴの日イベント開催



3月5日（金）サンゴの日にビーチクリーン等のイベントを開催しました。

総勢 250 名以上の参加がありました。参加、ご協力いただいたみなさまありがとうございました。

今後も3月5日のサンゴの日には、継続してイベントを開催します。

○出発式（真栄田漁港）

参加者数：約 200 名

○サンゴ苗植え付け（真栄田漁港沖）

植え付けたサンゴ苗：350 本

○グリーンベルト植え付け（塩屋区農地）

参加者数：約 50 名

植付本数：320 本（60m）

緑肥播種：約 500 坪の畑にヒマワリ、コスモス、ヘアリーベッチを種まき

○ビーチクリーン（真栄田漁港周辺、久良波海岸）

参加者数：約 200 名

ゴミの量：2t ダンプ7台分



サンゴ苗植え付け



グリーンベルト植え付け



ビーチクリーン

普及啓発アニメーション完成！

「サンゴの村宣言」プロジェクトの Sunna ちゃんを活用したアニメーションの第1話が完成しました。

完成発表会ではアニメ作成ワークショップの参加者やアフレコを担当した朗読サークル「ぼーの」のみなさん、恩納保育所の園児約 20 名が参加し、Sunna ちゃんと一緒に視聴しました。

ワークショップ参加者の佐藤佳代さんは園児に問いかけながら、「サンゴが生きていることが伝わってよかった。今後も活動を続けていきたい。」と話し、また朗読サークル「ぼーの」の吉山佳子さんは、「このような素晴らしいプロジェクトにかかわることができてうれしい。次作が楽しみ」と話した。園児からは「サンゴは何を食べているの？」「サンゴは何で海の中にいるの？」などの質問があがり、興味を示していました。

このアニメーションをもとにした絵本、アニメーションの第2話が3月末に完成する予定です。みなさんお楽しみに！



アニメーションは
こちらから



障害児童福祉手当・特別障害者手当制度について

県では、精神または身体の重度障害のため、常時特別の介護を必要としている方の負担を軽減するため、在宅の重度障害児（者）に対して、障害児福祉手当・特別障害者手当を支給しております。

（令和3年4月現在）

支給対象者	障害児福祉手当 月額 14,880 円	精神または身体に重度の障害があるため、日常生活において常時の介護を必要とする 20 歳未満の在宅の重度障害児で、福祉事務所の認定を受けた方。 なお、以下の場合には対象とはなりません。 （1）施設に入所（通所を除く）している場合。 （2）政令で定める公的年金を受給している場合。
	特別障害者手当 月額 27,350 円	精神または身体に著しい重度の障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする 20 歳以上の在宅の障害者で、福祉事務所の認定を受けた方。 なお、以下の場合には対象とはなりません。 （1）施設に入所（通所を除く）している場合。 （2）病院又は診療所に 3 ヶ月以上継続入院している場合。
支給制限	手当を請求する方の前年の所得が一定金額以上ある場合、または同居している配偶者及び扶養義務者の前年の所得が一定金額以上ある場合には、手当の支給が制限されます。	
支給	毎年2月、5月、8月、11月の4回に分けて、その前月分までの3ヶ月分を届け出た金融機関の口座に振り込みます。	
申請手続	認定請求書に、住民票謄本の写し、認定診断書、所得状況届、所得証明書などの必要書類を添えて、恩納村役場福祉課窓口へ提出してください。 なお、認定請求書などは役場又は中部福祉事務所地域福祉班にあります。 申請に関することなど、ご不明な点は福祉課窓口又は、中部福祉事務所までお問い合わせください。	

お問い合わせ：福祉課 地域福祉係 ☎966-1207
沖縄県中部福祉事務所 地域福祉班 ☎989-6603

将来を担う子どもたちのために

3月1日、読谷協同産業株式会社の大嶺健太郎代表取締役、波平貞明常務取締役が村役場を表敬し、恩納村教育委員会へ10万円の寄付がありました。

村長及び教育長より「長年にわたり、本村の教育にご寄付ありがとうございます。有効に活用させていただきます」と感謝を述べました。



新型コロナウイルスの影響等により村税（村民税・固定資産税・軽自動車税・法人村民税）の徴収猶予の特例を受けられた方へ

猶予の期限にご注意ください！

- 現在、徴収猶予の特例を受けている方（事業所）は猶予の期限をご確認いただきますようお願いいたします。
- 猶予期限までに納付できない場合、申請により他の猶予を受けられることがあります。現在の猶予の期限までに手続きを完了する必要があります。
- 納付が困難な方は、税務課までお早めにご相談ください。

お問い合わせ：税務課 ☎966-1206

新しい保育施設の開園について

令和3年4月1日より、『恩納村オリーブ保育園ゆうな』が開園しました。

旧ゆうな保育園を改修し、小規模保育施設として運営しています。小規模保育施設とは0～2歳児の子を対象とした定員19名以下の施設で、待機児童が多い低年齢児の受け皿として大きな役割を持っています。

お問い合わせ

- ・入所に関して 福祉課 ☎966-1207
- ・保育内容等については直接施設へお問い合わせください。

サンゴ保全活動に寄付

太田区人材育成会は2月18日、農業体験事業収穫祭での販売収益金を「サンゴの村宣言」応援寄付金に贈呈しました。

太田区人材育成会では、【地域の子どもたちは地域で育てる】を目的に子どもたちの体験学習として海人体験・農業体験、秋田県横手市での自然異文化体験を平成24年度から実施しています。海人体験ではサンゴの生態や海の環境について地元海人やダイビングショップの指導の下、環境学習を行っています。

子どもたちは、「自然環境にやさしい地域づくりのためサンゴ再生事業に役立ててほしい」と話しました。





ご芳志ありがとうございました。

■恩納村への寄付者

香典返し

金城 勝枝 様 (故 金城 清 様) 10 万円

■恩納村社会福祉協議会への寄付者

一般寄付

O I S T 職員 様 1 万 5 千円

令和 3 年度高校育英貸与奨学生
および高等学校貸与奨学生募集

応募資格 ①県内に住所を有する者の子弟、
②高等学校等または専修学校高等課程に
在学している生徒
※①及び②の条件を満たす者

申込方法 出願書類を学校から受け取り、学校が定
める提出期日（概ね 4 月中旬～下旬頃）
までに学校へ提出

お問い合わせ 在学している学校の奨学金担当者

環境にやさしい下水道につなごう



●下水道接続可能地域

喜瀬武原地区、恩納地区（恩納区の一部、南恩納区、谷茶区の一部）、山田地区

●下水道に接続するには宅内配管工事が必要となります。

各家庭や事業所等が宅内から下水管に生活排水を流すために、村が管理する公共マスまでの間の排水設
備工事が必要となります。

●工事にかかる費用は村からの補助金（上限 30 万円）が活用できます。

- ・既設の浄化槽の汚泥の汲み取りや撤去及び処分等については、個人負担となります。
- ・喜瀬武原地区、山田地区（山田、真栄田、塩屋、宇加地）は接続推進期限切れのため 15 万円 の補助
となります。

◆まずは、下記の排水設備指定業者に連絡！

工事の見積もり、役場への補助金の申請等も業者が代行します。

事業所名	住所・電話番号	事業所名	住所・電話番号
(有)原電設工業	瀬良垣 2505-2	(有)向設備	安富祖1848
	☎966-8191		☎967-8277
當垂電設 (同)	瀬良垣824-2	(有)丸政設備	仲泊880
	☎966-2897		☎965-2762
(株)真栄田造園	喜瀬武原314-1	(有)名城組	山田2384
	☎967-8332		☎964-3222
(有)又吉重機建設	山田1305	(有)當松組	瀬良垣933
	☎964-3247		☎966-2832
(有)新里建設	恩納2531-1	お問い合わせ	上下水道課 下水道係
	☎966-8313		☎966-1190

初めてのキャンプ

日時 4月17日（土）、18日（日）
場所 県立石川青少年の家 キャンプ場
対象・人数 小学生以上の家族 20 人程度
参加料 大人 1人 2,000 円
子ども 1人 1,500 円
申込期間 4月6日（火）～4月13日（火）
9：00～17：00 電話にて申し込み
※定員に達し次第締め切り



春の石川岳登山体験

日時 5月5日（水） 9：00～13：50
※小雨決行
対象・人数 成人 20 人程度
参加料 1人 500 円
申込期間 4月20日（火）～4月27日（火）
9：00～17：00 電話にて申し込み
※定員に達し次第締め切り

お問い合わせ 沖縄県立石川青少年の家
☎964-3263

【求人】県民の森

職種 除草作業員（男性）
給与 時給 975 円
資格 普通自動車運転免許、刈払機使用経験者
雇用要件 村内在住
雇用期間 令和3年4月1日～令和4年3月 31 日
※更新あり
勤務時間 8：00～17：00（月 20 日勤務）
休日 土曜・日曜・祝日
待遇 社保完備、労働保険完備、通勤手当あり、
制服貸与

職種 清掃作業員（女性）
給与 時給 815 円
資格 普通自動車運転免許
雇用要件 村内在住
雇用期間 令和3年4月1日～令和4年3月 31 日
※更新あり
勤務時間 4月～8月 9：00～17：00
9月～3月 9：00～18：00
待遇 社保完備、労働保険完備、通勤手当あり
制服貸与

お問い合わせ 沖縄北部森林組合
☎0980-52-0412

サイエンストーク 沖縄から世界に羽ばたく未来の科学者トーク

ジュンク堂書店那覇店と OIST のコラボ企画「サイエンストーク」を 2 月～ 6 月の毎月第四金曜日に開
催しています。OIST で学ぶ学生がどんな研究をしているのかをご紹介します！第 3 回目の 4 月の講演は神経
発生ユニットの河野輝（こうの・あきら）さんによる「予測～振り子から線虫まで～」です。生き物の動き
を予測する研究について、お話しします。チャット機能を使って質問もできますよ。ぜひご参加ください。

日時 4月23日（金） 18：30～19：30

※オンラインのみの実施となります。

パソコンやスマートフォンからご参加ください。

●OIST では現在すべてのイベント・見学は停止中です。イベントの中止、延期措置の変更等についてはホー
ムページにてお知らせいたします。

お問い合わせ 沖縄科学技術大学院大学 地域連携セクション ☎966-2184

令和 3 年度在沖縄米軍施設・区域内大学（基地内大学）就学者の募集

国際化時代に対応ができ、かつ本県の振興を担う人材の育成を図るため、本県にある米軍施設・区域内大
学へ就学希望者を募集します。

大学名 メリーランド大学、トロイ大学院、ブリッジプログラム（語学研修講座）

募集人数 70 人程度

募集期間 4月1日（木）～4月30日（金）17：00
郵送の場合は、4月30日（金）※消印有効

受験料 6,500 円

選考試験 ZOOMによる面接 5月下旬予定

募集要項 ホームページをご覧ください。

お問い合わせ (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団
☎942-9213

2のつく日は恩納村

2のつく日は恩納村

come

2
onna

恩納村リゾートウェディング活性化協議会は、2月22日恩納村ふれあい体験学習センターで、令和2年度にリゾートウェディングを活用して地場産業の活性化を図った事例のお披露目会を開きました。

事業で開発した村産パッションフルーツを使ったウェルカムドリンクやクッキー、村内の新撮影スポット、事業者を紹介しました。村内に恩納村ファンを集めるような基盤作りとしての公式LINEは2月22日で5,200人に達し、公式LINEでお友だちになった恩納村ファンを“たーちー (taachii)”と呼ぶ事にしました。

コロナ禍においても毎月2日、12日、22日には村内10箇所のリゾートホテルランチをご案内しており大好評となっています。

今年6月にはたーちー1万人、12月にはたーちー2万人を目標に、LINEを活用した恩納村の魅力発信しながら、ウェディング撮影も増やしていきます。更には、愛し人との大切な日や結婚記念日などの記念撮影を、恩納村の風光明媚な撮影スポットでドレスアップして撮影する「リゾートドレスフォト」も展開し、多くの恩納村ファンの来村を後押しします。

恩納村観光協会では、商業目的の撮影に必要な、恩納村役場及び各公民館への申請の代行を実施し、代行手数料の一部を各公民館へ還元しています。村民のみなさんに祝福されるカップルが一組でも増える事を願っています。



たーちー
募集中！



特典

“たーちー”になると

- ♥ リゾートホテルランチクーポンで、オリジナルスペシャルドリンクのサービスや最大20%引き
- ♥ リゾートホテルステイやランチなどが当たるチャンス
- ♥ たーちー限定のイベントにご招待

広報おんな

ONNA

4月[478号]

発行/恩納村

〒904-0492 沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地
電話 (098) 966-1200

人口と世帯 2021年2月末現在

男 5,643 (+14)

女 5,465 (+5)

計 11,108 (+19)

世帯数

5,471 (+18)

UD
FONT
by MORISAWA